



金氏家の亀甲積み石塀は、石材に角礫凝灰岩を使い、ザラリとした肌触りの独特の風合いを醸し出しています。「鶴亀」は昔から縁起のよい長寿の動物として、三川内焼の意匠にもよく用いられます。

四百年の伝統を誇る陶磁の里、三川内山に珍しい「亀甲積み」による石塀があります。明治十(一八七七)年、現在、三川内陶磁器協同組合理事長で、嘉泉製陶所社長の金氏嘉一郎さんが建てたとき、この石塀も築かれました。段差がある土地の擁壁である石垣とは違い、石塀は装飾的な要素が強く、各地に残る旧家に見事な石組みの塀が見られます。しかし、佐世保市内の旧家で亀甲積み石塀はほとんどみられません。

## 歴史散歩 亀甲積み石塀(三川内町)

第534回



昨年、秋の恒例三川内陶器市で、陶祖として神社に祀られている今村弥次兵衛如猿の流れをくむ今村隆光さん(光雲窯、伝統工芸士)が、明治時代まで盛んだった「置上げ」技法の鶴亀を、白磁の碗に再現し注目されました。水溶きの陶土を筆で丹念に塗り重ね、繊細な浮き彫り風の鶴や亀を描くのが仕上げです。三川内山には、明治、大正期の古風な赤煉瓦の煙突、単窯や登り窯跡、窯元の家の表に設けられたガラス戸の陳列棚、成形した素地を干すうつわ干し棚や築百年以上の民家が残り、町歩きを楽しむ愛陶家グループなどの姿が見られます。亀甲積み石塀の金氏家は、大正十二(一九二二)年に母屋の一部が改築されましたが、百三十年を数える明治の建物は、平戸瓦という特殊な屋根瓦が葺かれたまま残っています。石塀の原石である角礫凝灰岩層は、旧宮村の小学生が掘った防空壕「無窮洞」一帯にあります。

筒井隆義

## 情報クリップ



農村の伝統ある風習を地元の農家の皆さんと体験した「しめ縄打ち体験」(左)。わら縄を足に掛けて作る「わら草履作り体験」も催されました(右)。(11月29日、世知原赤木場集落) 九十九島水族館「海きらら」で初めて実施された「イルカの体重測定」(12月2日) 約3,500人が参加した「きらきらチャリティ大パーティー」(12月2日、四ヶ町アーケード等)



みかわち焼、小佐々いりこ、九十九島かき、世知原茶、西海みかんジュース、佐世保独楽など本市の特産品を一堂に集めた「させぼ四季彩館」が11月21日に三川内支所横にオープン!



クリスマスバージョンのライトの中でゆらゆらと漂うクラゲたちを、大切な人と眺めませんか? 海きららの「クラゲシンフォニードームのクリスマス」は1月31日(日)まで。



佐世保情報産業プラザ第2棟(崎岡町)への立地が決まった(株)HPIと長崎県、佐世保市との立地協定調印式(12月2日、セントラルホテル佐世保)

## SASEBO 中 編集後記

今回の特集テーマは「働く」。わたしが市役所で働き始めて7年9カ月。毎日充実していますが、ときには前向きな気持ちで仕事に臨めないときもあります。そんなとき、わたしは自宅に保管している市職員採用試験申込書の写しを見ることにしています。その志望動機欄には「この仕事に就きたい。採用されたら一生懸命頑張りたい!」というわたしの思いがざっしり。申込書を読み返していると「希望した職業に就けたんだから頑張れ」と励まされているように思えてきます。今後もくじけそうなどときには、この申込書を見て初心を思い出しながら、またこの申込書を提出した当時の採用試験担当者で、現在、同じ職場で働いている上司に叱咤激励されながら、頑張っていきたいと思います。(H)

ヘルシー  
クッキング  
コンテスト  
魚部門  
優秀賞

### 元気な朝ごはんレシピ まぜまぜシャキシャキ丼

● 考えていただいた人 岩崎亮太さん(佐世保北高校1年)  
● ワンポイント  
きんぴらごぼうは、たくさんかむ必要があるため、少量でも満腹感を感じることができます。水菜を添えたことでシャキシャキとした歯ごたえが楽しめます。

- 材料・4人分
- きんぴらごぼう
  - ゴボウ 60g
  - 油 小さじ1と1/2
  - 砂糖 小さじ1と1/2
  - しょうゆ 小さじ1と1/2
  - 水菜 1/2束
  - ご飯 600g
  - さんまの蒲焼缶 2缶
  - 刻みのり 適量
  - いりごま 適量

- 作り方
- 1 ゴボウはさががきにして油でいため、砂糖、しょうゆで味付けし、きんぴらごぼうを作る。
  - 2 水菜は洗って食べやすい大きさに切る。
  - 3 さんまの蒲焼は身をほぐし、汁ごとご飯に混ぜる。
  - 4 3を丼に盛り、その上に1・2を盛り、刻みのりといりごまを振りかける。
- 1人分の栄養価  
熱量428kcal、たんぱく質13.8g  
脂質11.1g、塩分1.1g

### あなたのアイデアを市長に直接伝えてみませんか! 第10回元気なまちづくりじげもんトーク参加者募集

市民の意見を行政に生かし、元気な佐世保をつくるため、市民の皆さんと市長がまちづくりについて意見交換する「元気なまちづくりじげもんトーク」を開催します。

とき 1月22日(金)12時~13時30分

ところ 市役所5階・副市長応接室

対象 市内在住者6人程度

内容 「子どもの心を育む読書(読書で心をつくる)」をテーマに、昼食を取りながら市長と意見交換をしていただきます。

応募方法 応募用紙に必要事項を明記し、郵送(〒857-8585・住所不要)かファクス(25-2184)、Eメール(hishok@city.sasebo.lg.jp)で秘書課へ。詳しくはお尋ねを。

締め切り 1月14日(木)必着  
※昼食は市で用意します。

◎秘書課 ☎24-1111